

世界を魅了する2人の若き星が共演！ 戦慄の時代が生んだ 祈りのコンチェルトと壮大な音宇宙

ブリテン：**ヴァイオリン協奏曲** 作品15

Benjamin BRITTEN: Concerto for Violin and Orchestra, op.15

ホルスト：**組曲《惑星》** 作品32*

Gustav HOLST: Suite "The Planets" op.32

指揮：
ピエタリ・インキネン

【首席客演指揮者】

Conductor: Pietari INKINEN, Principal Guest Conductor

©山口 敦

女声合唱：東京音楽大学*

Female Chorus: Tokyo College of Music

Hibiki to the World



第679回 東京定期演奏会 サントリーホール

SUNTORY HALL



2016年 April 22nd and 23rd, 2016

4/22(金)・23日(土)

18:20開場 / 19:00開演

13:30開場 / 14:00開演

本日の聴きどころ
(プレトーク)
開場13:00

インキネンと同門！
世界を翔ける才能

ヴァイオリン：
庄司紗矢香

Violin: SHOJI Sayaka

©Kishin Shinoyama

■ 料金(消費税込み) 2015年12月17日(木)発売

S ¥7,200 A ¥6,000 B ¥5,200

C 完売 P ¥3,200 Ys(25歳以下) ¥1,500

※Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※車いすの方、障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。

■ お申込み・お問い合わせ / 日本フィル・サービスセンター

TEL 03-5378-5911 (平日10:00~17:00) FAX 03-5378-6161 (24時間)

Webサイト www.japanphil.or.jp [席を選んでお申込みできます]

● チケットぴあ…(0570)02-9999 <http://pia.jp/t/japanphil> Pコード / 269-078

● e+【イープラス】…<http://eplus.jp>

● ローソンチケット…(0570)000-407(オペレーター) <http://l-tike.com> Lコード / 35179

● サントリーホールチケットセンター…0570-55-0017

託児サービス
(事前申込制・有料)

イベント託児®
マザーズ

TEL 0120-788-222
(平日10:00~17:00)

インキネン初のイギリス・プログラム。 同門の庄司紗矢香を迎えて

2016年9月の首席指揮者就任に向けて、ぐんぐんと密度の高い演奏となっているインキネン×日本フィル。マーラーを筆頭にワーグナー、ブルックナーといった大規模管弦楽作品に取り組んできましたが、次に彼から拳がったのはこの《惑星》。占星術に裏付けられた壮大な宇宙観と、作曲家ホルストの故国イギリスの民謡という素朴な要素が絶妙にマッチした20世紀初頭の作品です。後の映画「スターウォーズ」を想わせるスペクタクル調ばかりが聴きどころだと思われがちですが、その中に潜む精神性をインキネンならではの伶俐な視点で描き出してくれることでしょう。

前半には世界的ヴァイオリニスト庄司紗矢香を迎え、同じくイギリスの作曲家ブリテンの協奏曲をお贈りします。庄司とインキネンは両名とも名教師ザハール・ブロンにヴァイオリンを師事した同士。クラシック界を牽引する若きアーティスト達の対話に是非耳を澄ませてみて下さい。

東京定期土曜限定プレトーク
「本日の聴きどころ」

毎回、これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等をご紹介します。

13:00 プレトーク開場
13:10 プレトーク開始(山崎浩太郎氏)
(1階席1列~14列でお聞きください)
13:25 プレトーク終了
13:30 一般開場
14:00 開演



指揮：
ピエタリ・インキネン
[次期首席指揮者]
2016年9月~

©山口 敦

世界各地で活躍の場を広げ注目を集めているインキネン。2015年よりブラハ交響楽団、ルートヴィヒスブルク城音楽祭の首席指揮者に就任。2009年9月より日本フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者を務め、2016年9月には首席指揮者に就任予定。

これまでに、ニュージーランド交響楽団音楽監督を8年間務めたほか、ミュンヘン・フィル、スカラ・フィル、ロサンゼルス・フィル、イスラエル・フィル、バイエルン放送響、ドレスデン・シュターツカペレ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、フランス放送フィル等に客演している。オペラの分野においても、フィンランド国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場をはじめ、各国のオペラ・ハウスに出演。

録音は、日本フィルハーモニー交響楽団と「シベリウス：交響曲全集」(ナクソス)、「マーラー：交響曲第5番」(日本フィル)をはじめとする5タイトルのアルバムをリリース、ほかにサイモン・オニール/ニュージーランド交響楽団「父と子〜ワーグナー：アリア集」(EMI)など多数。

フィンランド出身。シベリウス音楽院でヨルマ・パヌラ、レイフ・セーゲルスタムらに師事。ヴァイオリニストをザハール・ブロンに師事し、ソリストとしても活躍している。



ヴァイオリン：
庄司紗矢香

©Kishin Shinoyama

グラモフォン誌に「絶大なスタミナと何事にもひるまない精神、希有な音楽家」と評された庄司紗矢香は、アッシュケナー、デュトワ、ヤンソンス、メータ、ビシュコフ、パーヴォ・ヤルヴィ、ミョンフン、パッパーノ、ネゼ＝セガンといった世界を代表する指揮者たちと共演を重ねている。近年は、BBCフィルハーモニック、ウィーン交響楽団、ドイツ・カンマーフィルハーモニー・ブレーメン、NHK交響楽団などのコンサートに登場している。

今シーズンのハイライトとしては、スウェーデン室内管弦楽団へのデビュー、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団との日本ツアーなどがある。室内楽リサイタルをジュネーヴ、ワシントンDC、ロンドン、パリで行い、スタヴァンゲル室内音楽祭にも参加する。また、細川俊夫の新作委嘱作品を含むソロ・リサイタルの日本ツアーとウィグモア・ホールへのデビューも行う。今後は、マリンスキー劇場管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、東京都交響楽団、NDR交響楽団などと共演する予定。

1999年パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで史上最年少および日本人として初めて優勝した。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1729年製ストラディヴァリウス「レカミエ(Recamier)」である。

次回 東京定期演奏会 第680回東京定期演奏会

2016年 5月20日(金) 19:00 開演(18:20開場) 21日(土) 14:00 開演(13:30開場)

ラザレフ×日本フィル スペシャルサポート

サントリーホール

三菱UFJニコス株式会社

プログラム

【ラザレフが刻むロシアの魂SeasonⅢ ショスタコーヴィチ5】

チャイコフスキー：組曲第1番 作品43

ショスタコーヴィチ：交響曲第6番 短調 作品54

料金 (消費税込み)

S ¥7,700 A ¥6,500 B ¥5,700 C 完売 P ¥3,200 Ys(25歳以下) ¥1,500

2015年 12月17日(木)発売



©山口 敦

指揮：
アレクサンドル・ラザレフ
[首席指揮者]